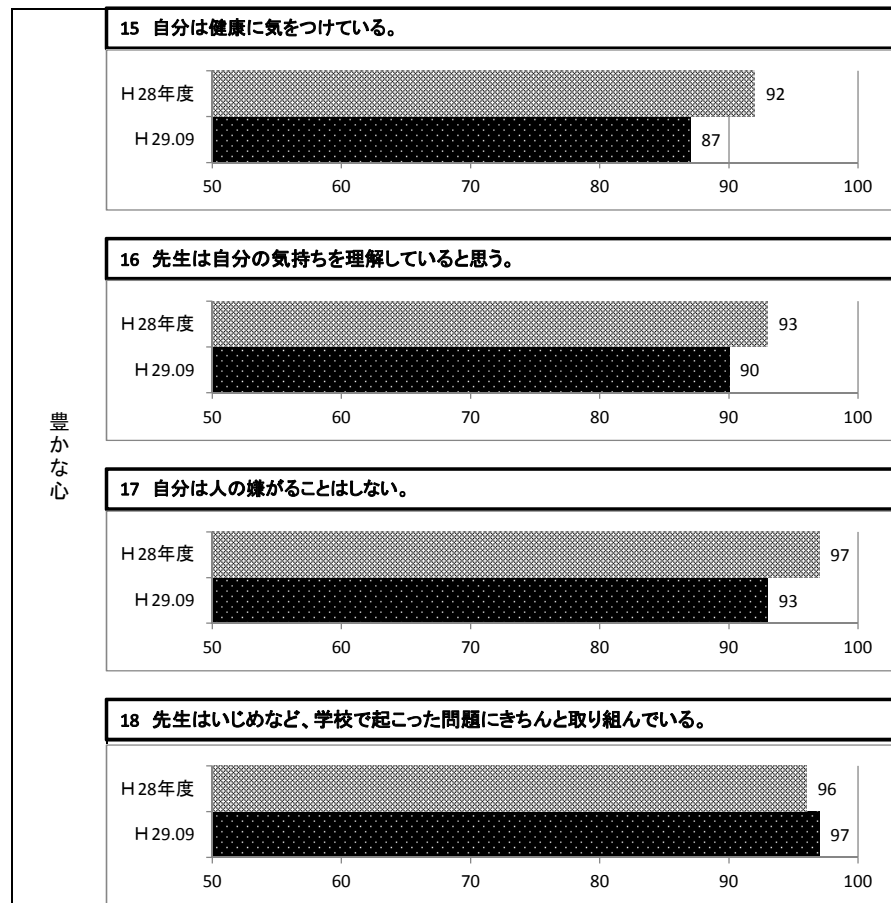
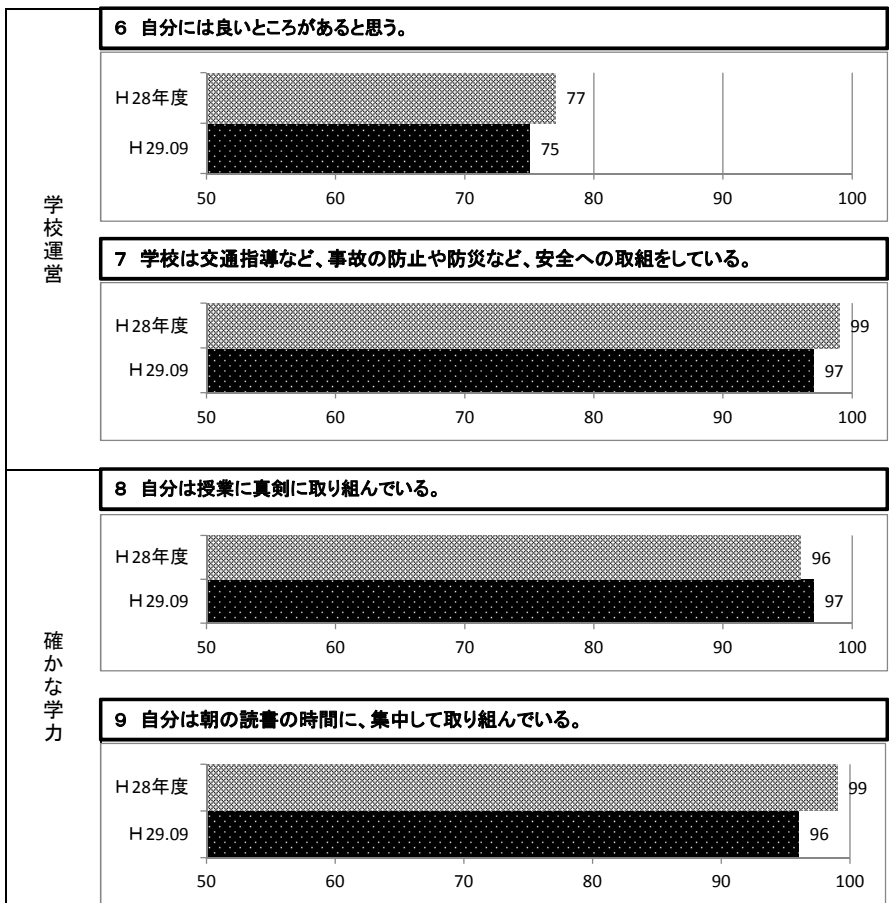
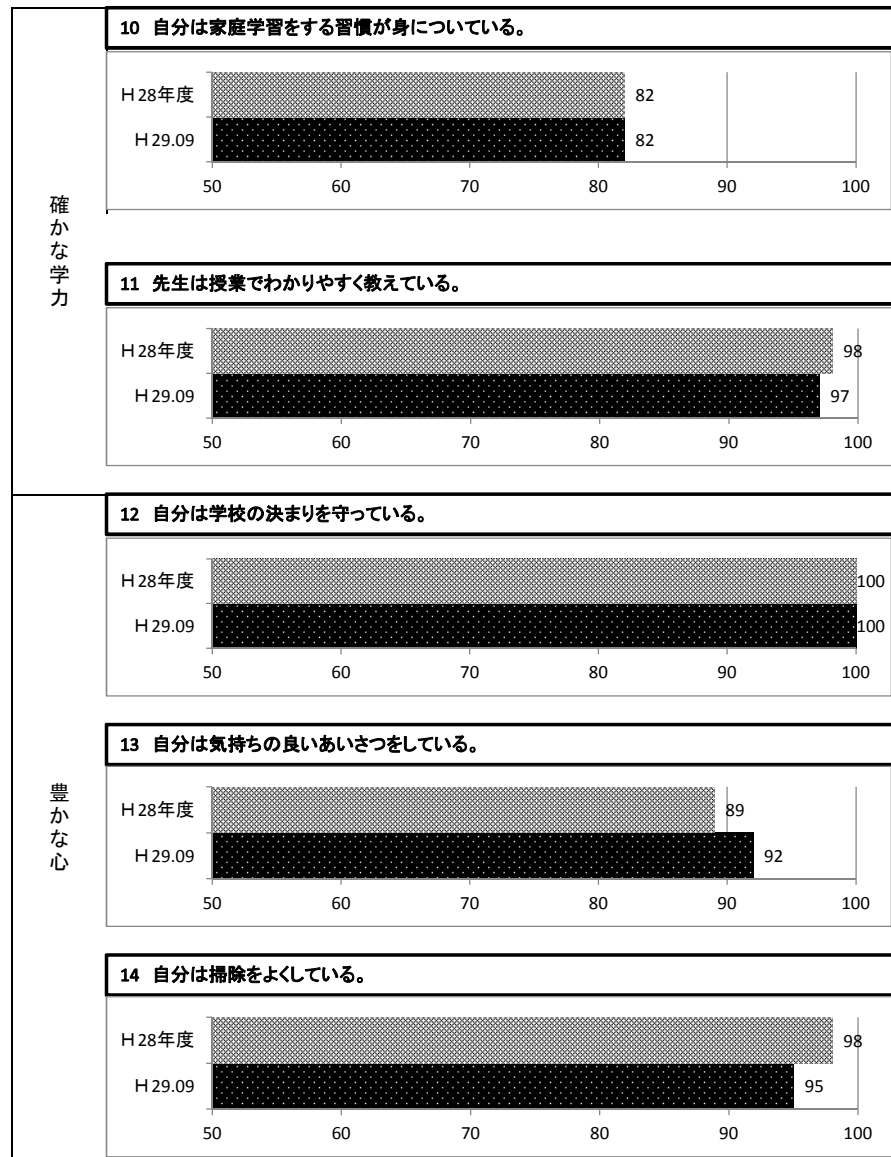
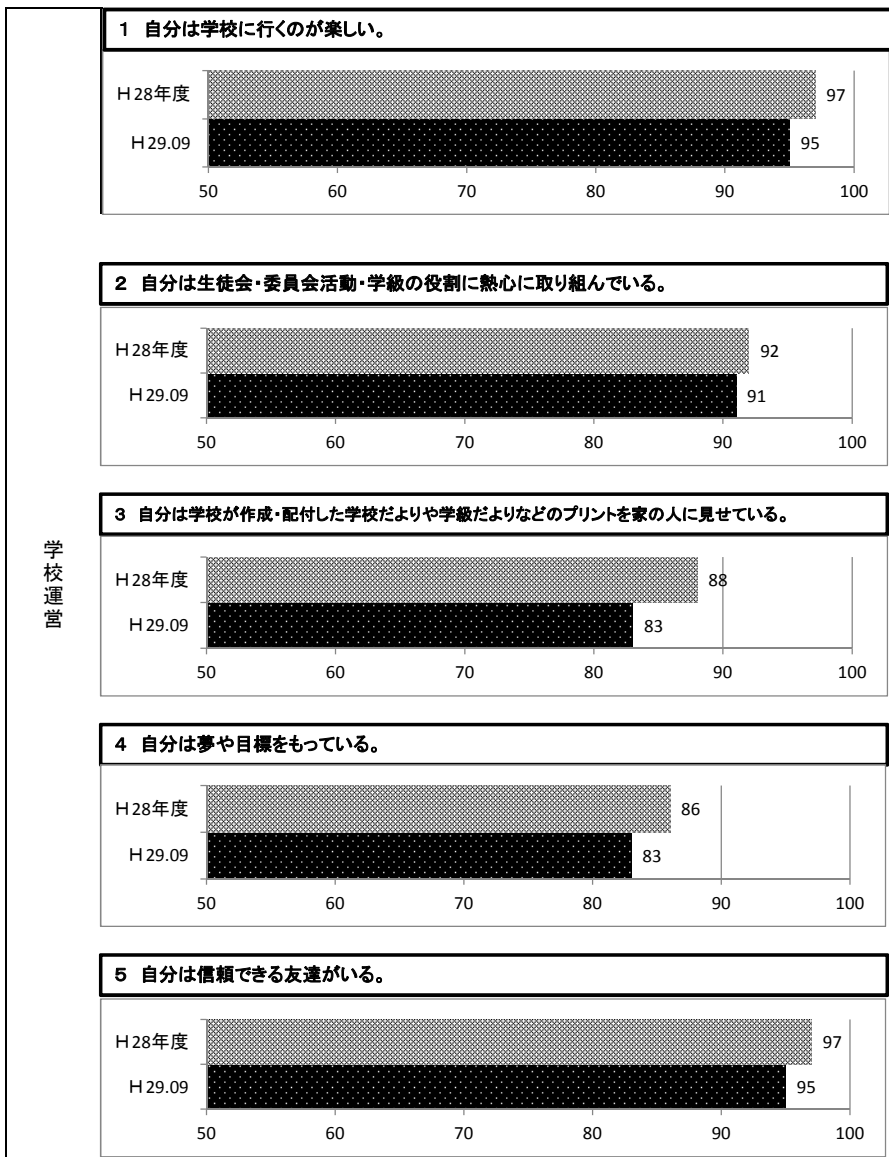


平成29年度 学校評価 生徒アンケート 29年9月実施結果



(考察) 昨年と比較して全体的に見て13の質問項目において、今年の肯定率が下がっている。生徒たちが学校生活全般において、自分に自信がもてていないのではないかとおもわれる。特に気になるのが、「6自分には良いところがあると思う。」という生徒の自己肯定感にかかわる項目である。この自己肯定感を80%以上に高めさせようと我々は「良いところを見つけ、褒めて育てていく。」「生徒会活動・学校行事の充実」に取り組んでいるが2・3年生の自己肯定率が低い。生徒に夢や希望を抱かせる様な指導を心がけ、自分はやればできるという自信をもたせていきたい。また、自分なりの目標をワンランク上のものにし、成し遂げた時の達成感や充実感を味わせたり、振り返りによる価値付けを行わせたりすることで自己肯定感を味わせたい。「3自分は学校が作成・配付した学校だよりや学校だよりなどのプリントを家の人に見せている。」が低く、学校での生徒の様子が全ての保護者に伝わっていないのが残念である。保護者アンケートにおいても、生徒の学校生活(学習面も含む)が保護者によく理解されていない結果となっている。解決策として、生徒に、配付物を保護者に必ず見せるよう徹底していきたい。良い面として、「12自分は学校の決まりを守っている」が100%で生徒1人ひとりの規範意識が非常に高く、校内外の生活においてルールを守って生活していることが伺える。「8自分は授業に真剣に取り組んでいる。」「11先生は、授業でわかりやすく教えている。」が97%と高く、授業での先生と生徒の授業的な関係が伺える。また、「7学校は交通指導など、事故の防止や防災など、安全への取組をしている。」「18先生はいじめなど、学校で起こった問題にきちんと対応している。」も高い数値(97%)で、学校が安全への取組みや、いじめなどの取組に的確に取り組んでいると生徒たち